

【情報公開文書】

作成日2025年6月25日
(最終更新日20 年 月 日)

受付番号： 第 S2025-017 番

課題名：顎顔面形態による喪失歯、う蝕調査

1. 研究の対象

2015 年 4 月から 2025 年 4 月に、東京科学大学病院矯正歯科外来において矯正歯科前検査を受けた患者さんへ

2. 研究期間

研究実施許可日～2030 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日： 2025 年 9 月 16 日

提供開始予定日： 該当なし

4. 研究目的

この研究によって、以下のことを明らかにすることを目指しています：

顎や顔の形が異なることで、歯の健康にどのような違いがあるのか

むし歯や歯の喪失が起こりやすい特徴があるかどうか

これにより、矯正治療を始める前に、将来的なむし歯や歯の喪失のリスクを予測し、早めに予防的な対応を行うための新しい視点が得られると期待しています。

また、一人ひとりの顔やあごの特徴に応じた、より効果的で総合的な矯正治療の計画づくりにも役立てていきたいと考えています。

5. 研究方法

東京科学大学病院矯正歯科外来）を受診し、術前検査を受けた年齢 18 歳～60 歳の 600 名を研究対象としています。本研究は後ろ向き研究であり、診療録情報から、研究参加者を選定後、データベースを作成する際に特定の個人が分からないように情報を加工し研究固有の番号を附番してお名前に置き換えます。顎や顔の形とむし歯や歯の喪失の関連に統計的比較を行います。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：生年月日、カルテ番号、イニシャル、パノラマX線写真、頭部X線規格写真、口腔内写真、ポケット診、模型、ESS（Epworth Sleepiness Scale）アンケート、身長・体重、表面筋電図、下顎運動計測、合力測定 等

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究は科学研究費助成を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東京科学大学病院 矯正歯科外来 加藤千帆

連絡先：03-5803-4146

当院の研究責任者：東京科学大学病院 矯正歯科外来 加藤千帆

11. 苦情窓口

東京科学大学 研究推進部研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）